

## 溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点(FDWS)主催 第2回講演会

堤 成一郎

接合評価研究部門 接合設計学分野 准教授

溶接構造の疲労性能設計手法国際研究拠点 (FDWS) の第2回講演会『溶接構造の強度評価技術と性能設計』が2018年3月7日に本研究所大会議室で開催されました。本講演会では、材料や構造物の強度評価技術および設計法に関する最新の研究成果に関して、名古屋産業科学研究所の田中啓介先生による特別基調講演、大阪大学の大沢直樹教授および九州大学の後藤浩二教授による基調講演、ADSIC 研究会の豊貞

雅宏先生、大阪大学の南二三吉教授および堤成一郎准教授による講演が、それぞれ下の題目で行われました。特に本講演会は、各講演時間を長く設定し、午前10時から17時半までと長時間の開催でしたが、会場ほぼ満員の59名の研究者・技術者の方にご参加いただきました。また、参加者の半数が産業界からであり、産学連携に向けて活発な意見交換が行われ、盛会裡に終了致しました。

## 題目

大阪大学 接合科学研究所 南 二三吉 教授  
溶接構造の破壊強度評価技術と国際規格化の最前線

大阪大学大学院 工学研究科 大沢直樹 教授  
(基調講演) 弾性振動が重畳する場合の船体疲労強度評価法に関する研究

名古屋産業科学研究所 田中啓介 先生 (名古屋大学 名誉教授)  
(特別基調講演) 微視組織, 材料欠陥, 残留応力と疲労強度

九州大学大学院 工学研究科 後藤浩二 教授  
(基調講演) 疲労き裂発生伝播寿命評価に関する最新の話

ADSIC 研究会 豊貞雅宏 先生 (九州大学 名誉教授), JIP テクノサイエンス 狩野正人 様  
Advanced Design System for Structural Integrity against Cracking 研究会の活動報告

大阪大学 接合科学研究所 堤 成一郎 准教授  
溶接構造の疲労寿命延伸技術に関する実験と非線形 CAE によるメカニズム解明